

『君はどう生きるか』『7回読み』

聞いたことありますか？

ヒントは図書館にあります

吉野源三郎著、時代を超えて読み継がれるロングセラー「君たちはどう生きるか」の中でコペル君も一生懸命に考えます。

進路だよりらしくない？しかし生き方を考えることは進路を考えることにつながります。この本のほかにも図書館には今読んでほしいたくさん本があります、ぜひ本の海で自由に思考してください。

入試でも環境や人口減少などの社会問題・経済・歴史・文化など多岐にわたっての知識が必要。推薦入試で小論文を書くためならなおさら多くの本から理解を深めておきましょう。3年生では間に合いません。

本校図書館にはすでに「蛍雪時代」や「〇〇になるには」など入っていますが、これからさらにたくさんの進路に役立つ本を入れていただけるようお願いしていきます。

『7回読み』ポイント

●読む範囲 授業単位、模試や定期テストの範囲を1単位、入試なら教科書全部を1単位として読む

●読む速さ 1～3回目は、読み流し、早く

●繰り返しのタイミング 2回目は1日以内に。1日1回1週間でできる

●マーカーは使わない。

数学は「7回解き」だそうです。

自分なりの勉強方法は見つかりましたか？

この「7回読み」は、「教科書や問題集を7回繰り返し読み、必要であれば、書く」勉強方法で、繰り返し読むと全体のストーリーの流れの中で自然と覚えていけると「東大首席・ハーバード卒 NY州弁護士と母が教える合格習慣55」という本で紹介されています。

大学見学会が近くなりました。各大学については進路室の赤本、PC等を使ってしっかり調べてください。さらに本校図書館も活用してください。

『7回読み』勉強法

●1～3回目『内容の輪郭をつかむ』

【1回目】章のタイトル、大見出し、中見出しなどを読む。文中の太字、重要な場所だけ読んでいく。

【2回目】さらさら3行飛ばしくらいのイメージで読む。単語やキーワードを覚える感覚で。全体のアウトラインや構造がざっくり頭に入る

【3回目】全体をさらさら読む

●4～5回目『輪郭内の内側に大まかな内容を描く』

【4回目】3回読んで下準備はできている、1行ずつ普通に読む。理解できなくても立ち止まらない

【5回目】4回目と同じように読む。意識できれば、キーワードとキーワードをつなげるように読む。

●6～7回目『輪郭内の内側の内容を詳細にしていく』

【6回目】書かれていることを予測して読む。すでにわかっている内容の答え合わせ感覚。

【7回目】頭の中で要約しながらその答え合わせとして読む。まだ頭に入っていない部分だけピックアップして読む。

Keep looking up.. That's the secret of life.. 上を見続ける…それが生きるコツさ…

Snoopy (Charles M. Schulz)